

◇ 全産業の動き ◇

〔業況のDI〕 今期、製造業・卸売業・小売業・サービス業は改善。建設業は横ばい。
来期は、製造業・卸売業・サービス業は改善を予想。小売業は、横ばい。建設業は、悪化と予測。

| 業種 | 前期 | | 今期(前年同期) | | 来期予測 |
|-------|-------|---|---------------|---|-------|
| 製造業 | ▲68.5 | ↗ | ▲54.5 (▲36.4) | ↗ | ▲27.2 |
| 建設業 | ▲20.0 | → | ▲19.4 (▲13.8) | ↘ | ▲35.5 |
| 卸売業 | ▲64.0 | ↗ | ▲54.2 (▲45.8) | ↗ | ▲47.9 |
| 小売業 | ▲80.0 | ↗ | ▲43.5 (▲57.9) | → | ▲40.9 |
| サービス業 | ▲71.9 | ↗ | ▲55.6 (▲14.8) | ↗ | ▲37.0 |
| 全産業 | ▲60.6 | ↗ | ▲44.9 (▲31.8) | ↗ | ▲36.7 |

〔売上高のDI〕 今期、製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業と全て増加。
来期は、製造業・小売業・サービス業は増加を予想。建設業・卸売業は、減少と予測。

| 業種 | 前期 | | 今期(前年同期) | | 来期予測 |
|-------|-------|---|---------------|---|-------|
| 製造業 | ▲62.8 | ↗ | ▲55.8 (▲21.2) | ↗ | ▲18.2 |
| 建設業 | ▲30.0 | ↗ | ▲16.1 (▲6.9) | ↘ | ▲35.5 |
| 卸売業 | ▲60.0 | ↗ | ▲50.0 (▲41.7) | ↘ | ▲60.9 |
| 小売業 | ▲76.0 | ↗ | ▲45.4 (▲36.8) | ↗ | ▲27.3 |
| サービス業 | ▲62.5 | ↗ | ▲48.2 (▲12.0) | ↗ | ▲22.2 |
| 全産業 | ▲57.8 | ↗ | ▲42.8 (▲22.3) | ↗ | ▲31.6 |

〔採算のDI〕 今期、卸売業・小売業は好転。製造業・建設業・サービス業は横ばい。
来期は、製造業・小売業・サービス業は好転を予想。建設業・卸売業は、悪化と予測。

| 業種 | 前期 | | 今期(前年同期) | | 来期予測 |
|-------|-------|---|---------------|---|-------|
| 製造業 | ▲57.1 | → | ▲52.9 (▲46.9) | ↗ | ▲27.3 |
| 建設業 | ▲24.1 | → | ▲22.6 (▲24.2) | ↘ | ▲43.4 |
| 卸売業 | ▲48.0 | ↗ | ▲33.4 (▲54.1) | ↘ | ▲43.5 |
| 小売業 | ▲64.0 | ↗ | ▲47.8 (▲52.7) | ↗ | ▲31.9 |
| サービス業 | ▲58.1 | → | ▲55.6 (▲7.7) | ↗ | ▲37.1 |
| 全産業 | ▲50.4 | ↗ | ▲42.5 (▲36.1) | ↗ | ▲36.3 |

◇ 産業別の動き ◇

※コメントは回答に基づき要約しています。

【製造業】 景気ムード…【厳しい状況】

『製紙』…「紙業界は、企業向けか家庭向けかで需要が大きく異なる。」「以前からの需要減退に加え、新型コロナによる経済活動が停滞したことで売上減少に拍車が掛った。ワクチン・治療薬の開発が実用化されるまで、景気は変わらないまま推移すると予想。」「コロナ禍でショッピングバッグが壊滅的な需要減となり、全体的に物品の流通減少から包装用紙が需要減少。鉄鋼関連で使用する産業用紙も低調だったが、自動車関連の復活から回復の兆しがある。食品関連では、スーパー関連がステイホームの影響で好調だが、外食系は厳しいために相殺されている。唯一ペーパータオルは好調で、年初から見るとほぼ倍増、各社とも生産調整を実施している。今後、東京オリンピック開催などで需要は徐々に回復となる模様。」一方、「コロナ禍により需要動向が見えず、為替・エネルギー価格の変動が収益への影響を受けざるを得ない。」とのコメント。

『紙加工』…「自粛緩和の時期であったが、回復は鈍く受注減も続いている。脱プラスチックで紙容器化の動きが加速しているが、第3波感染拡大により各分野での需要縮小により生産減の流れは変わらないと予測する。」「家庭紙では業務用が在庫過剰のため生産調整を行い、PPC紙（コピー用紙）においては、リモートワークによる需要低下で注文が減少している。来期は経済活動の停滞により需要は減少したまま推移する。」との回答。

『金属加工』…「自動車部品については多少上向いていると思われるが、部品によっては受注にムラがある。工作機械・一般機械部品の受注については低下している。これ以上経済活動が停滞しない事を願う。」の意見。

『機械器具』…「資材調達の遅れにより、生産減及び輸出不振による売上減。」との声。

『金型部品』…「自動車関連メーカーの生産は伸びているが、金型や設備となると先の需要予定が少なく、今後も新型コロナが収束しない限り厳しい状況が続くと思われる。「生産計画はあるが、過当競争で受注が出来ないことが多くなった。来期2月後半から仕事量が伸長する見込みで、新規取引先も増加するので雇用も守りつつ奮闘したい。」との回答。

『自動車部品』…「中国経済の回復により、一部需要が増えた。コロナの収束次第で大きく変化すると予想。」「新規で立ち上がる製品が鈍化しつつある。仕事量減少により、企業間競争が激化すると思われる。」「トラック部品の受注残はあったが、トラック生産量は戻りつつある。」とのコメント。

『衣料・繊維加工』…「昨年の消費税増税による駆け込み需要から、今期は取引先で在庫調整等もあり売上減少。来期は引続き前年対比7~8割での売上見込み。」「製紐業界では、コロナ禍によるアパレル・自動車関連・他産業資材の低迷のため需要が減少傾向である。コロナ以前の状態に戻るには1年くらい掛る模様。」との見解。

『印刷資材・印刷関連』…「家庭紙業界への販売は順調。産業機器販売大手の得意先では、設備投資が全体的に対前年比マイナス10%程のため不調。」「4月~6月に比べ8割程回復したが、現状受注元が飲食業・観光・イベント業の印刷物が主なので先が見通せない。」との意見。

『食品』…「巣ごもり需要によりスーパー、ドラッグストア、ディスカウントストアは好調、コンビニエンスストアは低調傾向で当面続くと推測。販売チャネルにより売上は大きく変わるため、Eコマースは早期に着手すべきと思案する。」「コロナ禍で前年度より売上は減少している。GoToキャンペーンの影響もあり、一部商品で販売数が増加したものもあったが、GoToトラベルの一時停止で先行き不透明な状況が続くと思われる。」との回答。

『飲料』…「コロナ禍でイベント中止が多く売上減少。」とのコメント。

『その他』…「ペーパータオルの地域への直販を行っている。天然パルプ100%で食品にも使える製品を運送費・流通マージンを除き地元を提供している。地産地消の観点から当地域に貢献できることを実施していきたい。」との情報。「県内外から須津溪谷橋のバンジージャンプを楽しみに来る人がいるのに周辺の観光スポットや店舗等がないため、残念に思う。」との意見。また「新型コロナのワクチン開発で米国・英国の製薬会社が年内から来年にかけワクチン接種が実施され、感染予防に高い効果があれば期待が大きい。」「地元商店街は客足が遠のき大変厳しいと思われる。何よりも需要喚起せねばならない。」「富士駅周辺の複数件のクラスター発生及び中央病院での感染拡大のため、県が市全域の酒類を提供する飲食店に12月23日～1月5日の間、午後8時～午前5時まで、時短要請をした。同病院での病床使用率も満床、医療体制も逼迫し、当市も大変な時期を迎えている。」との声。

| | 好転% | 不変% | 悪化% | 今期D I | 来期予測 |
|-----|------|------|------|-------|------|
| 業 況 | 6.1 | 33.3 | 60.6 | ▲54.5 | 上 昇 |
| 売上高 | 11.8 | 20.6 | 67.6 | ▲55.8 | 上 昇 |
| 採 算 | 5.9 | 35.3 | 58.8 | ▲52.9 | 上 昇 |

【建設業】 景気ムード…【厳しい状況】

『総合建設』…「新型コロナウイルスの影響による民間設備投資の減少が危惧されると共に、大幅な公共投資の増加が期待できず、今後も厳しい状況が続くと思われる。」「公共工事は政府の景気対策で増加傾向にあるが、県・市町村での工事は停滞ぎみ、民間工事は設備投資を控える企業がでており、競合・価格競争が厳しくなっている。今後の見通しでは、公共工事はこれまでと同様の動きを見せられると思われるが、同業者が民間工事から公共工事の受注にシフトすると予想されるため過当競争により厳しくなる。」「建設業は不安定要素が多い職種である。今後の見通しについても先が読めない。」との回答。「新型コロナの感染拡大により、従業員の健康リスクが高まり、企業は新たな健康課題への対策を迫られている。」「民間企業や個人客の見積もり依頼及び受注が減退。公共工事についても先行き不透明。」「民間の設備投資意欲が縮小され、製造業の新規設備は大幅に減少している。又、少額な案件が主流となっており、受注するも不採算な案件が多い。今後、第3波感染者急増により民間工事は減少すると思われる。」「通年では、前年の繰越工事の売上計上により前期と同程度の売上及び利益計上となっていたが、来年の予定案件が少なく、減収・減益が予想される。」とのコメント。

『一般住宅』…「外出自粛等により持ち家の関心が高まっている模様。」「社内イベント来場者の減少が販売需要の悪化に転ずると予想。今後、コロナ収束がカギとなる。」との意見。

『建設関連』…「現在、それほど大きく仕事量は減少していないが、今後コロナ禍により設備投資を控え、受注が減少すると予測。」「地元のゼネコン関連の仕事量が減少し、販売価格に転嫁することが困難。来年度は公共事業が縮小し、民間工事に頼るしかないと思われる。」「新型コロナウイルス感染拡大の影響で、計画されていた工事の延期・中止等が通知され先が読めない。」との声。

『土木関連』…「自社事業だけでは先行きが不安なため、他事業にトライしていく予定。」「解体・土木工事の需要が減少しているため、リサイクルセンターへの廃材排出量が低下している。工場等の設備投資も縮小。ハウスメーカーも苦戦している様子。」との回答。

『造園土木』…「造園業界は、引続き人員・人材不足。」「11月～12月の植木・庭の手入れ作業で繁忙期となる。しかし、公共工事の発注がなく、民間工事も受注が縮小。」「植栽形態の変化により高木の生産量が減少しているため、高木の確保が困難。又、松・マキ等の仕立物の生産量も減少している。公共での造園工事の発注は少なく、維持管理（除草・伐採等）が多く見受けられる。」「今年度において、新型コロナでの影響は民間工事ではあるが、公共工事では比較的少ない。しかし、来年度の状況は予測できない。」との意見。

『設備工事』…「新型コロナの感染拡大が続く限り、消費マインドの悪化は収まらない。」「設備投資や公共施設建設計画の延期等で影響を受けている。取引先の廃業が増加している感がある。」「建設業は全般的に人員不足・人材不足は継続すると思われる。コロナ禍長期化に伴い、工場等の設備投資減少が予測される。また、官公需停滞も含め今後の売り上げは低調と思われる。」とのコメント。

『屋外広告・イベント』…「看板業については、企業の新築・更新による需要が多く期末に向け受注に期待する。イベント業はコロナ禍により大打撃、当面続くと思われる。行政の新型コロナによる税収減で、仕事の発注量の縮小が懸念される。」との回答。

『その他』…「コロナ禍における業種ごとの格差が出て来ている。」「富士駅南地区では夕方から夜半にかけ、人通りが激減している。」「飲食業界が苦戦を強いられているが、行政が独自の助成・補助がこの先も無いと廃業が増えると思われる。」「新型コロナ感染者の濃厚接触者の発生情報が、いよいよ身近になって来た様相。」「行政機関には地域活性化のため、あらゆる面から真剣に支援をお願いしたい。」「富士市森林墓園周辺や大淵地区で山林を伐採し、残土の盛土が無許可で行われていたが、市で対処し埋め立て業者が逮捕されたようである。今後大雨・地震等により崩壊する危険性が懸念される。」との情報。

| | 好転% | 不変% | 悪化% | 今期DI | 来期予測 |
|-----|------|------|------|-------|------|
| 業況 | 12.9 | 54.8 | 32.3 | ▲19.4 | 下降 |
| 売上高 | 19.4 | 45.2 | 35.5 | ▲16.1 | 下降 |
| 採算 | 12.9 | 51.6 | 35.5 | ▲22.6 | 下降 |

【卸売業】 景気ムード…【厳しい状況】

『機械器具』…「新型コロナの影響は大きいですが、徐々に回復している感はある。企業の業績は全体的には低迷しているものの、企業別に見ると明暗がハッキリしつつある。」「巣ごもり需要により、宅配に使用される段ボールの需要は復活している。」との声。

『自動車部品』…「10月はコロナの警戒感が多少緩み新車販売が好調であった。買い替え需要等で新車購入が一挙に進み、そのため中古車市場も改善し、久しぶりに売上が前年比5%ほど増収した。但し、11月～12月は前年並みに戻っている。第3波感染拡大のため再び先行きの不安感から伸び悩みが続くと予測するが、中国・北米向けがやや好調なためマイナス傾向は小さいと思われる。」との回答。

『金属部品』…「景況感は一時的に縮小のみ、今後も不透明だが減退すると思われる。」

『建築材料』…「新型コロナの影響はこれまで限定的で余り数字に表れていなかったが、建設関係の業者間で年末から来年にかけ、需給がタイトに推移していることを耳にする。コロナショックの経済へのダメージにより、公共工事や民間企業の設備投資が抑制され、今後を危惧する。」との意見。

『紙』…「新型コロナ感染症の影響により、土産物関連や食品用パッケージの出荷がかなり鈍っている。GoTo キャンペーンで回復傾向であったが、今後の見通しは不明。一方、静岡の一部同業者では昨今流行りのアニメ関連のおもちゃ・グッズ等で売上を伸ばしているようだ。」「GoTo トラベル等の効果が出始め、売上も回復基調にあるものの、コロナウイルスの第3波がどの程度でピークになるか、予断を許さない状況である」との声。

『製紙原料』…「中国の古紙輸入規制強化が始まる、輸出先の販売ルートが確保できるか、新型コロナが長期化すると輸出価格が暴落する恐れがある。その上、オフィス書類はテレワークが定着化すると古紙の排出が減り、ペーパーレス化が加速すると予想。」一方「新聞購読者減少のため、新聞紙の残紙が低減。ダンボールの輸出低下により国内の古紙がダブつき、相場が低迷し見通しも暗い。」「消費の低迷と産業古紙の減少、輸出状況の不安定化など需給調整が難しく、古紙価格の低迷をどう乗り越えるか業界も厳しい状況が続く。衛生紙向きの古紙は当分順調に出荷できると思うが、家庭紙は減産傾向にあるため動向は鈍いと予測。」というコメント。

『再生資源』…「鉄・非鉄スクラップが価格上昇。鉄については、コロナ禍で解体工場の休止、工場の休業等でスクラップの発生が減少し、製品価格の底打ちから上昇。非鉄は中国のインフラ設備、EV（電気自動車）の増産により価格が上昇してきた。米国大統領選の決着、コロナワクチンの治験効果・新薬増産で沸いているが、引続き停滞状況が続くと推察する。」「鉄鋼製品価格の上昇に伴い、スクラップ価格も上昇。中国の国内生産が活発化され原料不足。年内から来春まで、製品とスクラップは強気で高値が続くそう。」「世界情勢の不安定要因から原料の相場が読みづらい。更に新型コロナの感染拡大により、国際社会に蓄積した歪みが顕在化し、先の見通しが立たない。」との回答。

『工業薬品』…「どの業界も同じだが、このコロナ禍において終息或いは共存が確保されない限り、先が見通せない。」との声。

『食品』…「顧客側の販売不振による需要減に伴い、限られた需要の奪い合いで過当競争が激化している。また、需要減による稼働率低下も生じている。観光、外食セグメントの需要は完全に元に戻ることはない。能動的に新規顧客の開拓を行ない、業績回復に繋げ10ヶ月以内には前年度並みに回復したい。」との意見。

『その他』…「伝法地域の住宅地開発が進み喜ばしく思う。」「県・市行政より企業や事業に対する実質的な規制緩和と手続等の簡素化を要望し、各種産業を誘致して欲しい。」との声。

| | 好転% | 不変% | 悪化% | 今期DI | 来期予測 |
|-----|------|------|------|-------|------|
| 業況 | 12.5 | 20.8 | 66.7 | ▲54.2 | 上昇 |
| 売上高 | 16.7 | 16.7 | 66.7 | ▲50.0 | 下降 |
| 採算 | 8.3 | 50.0 | 41.7 | ▲33.4 | 下降 |

【小売業】 景気ムード…【厳しい状況】

『各種食料品』…「店舗販売は減少傾向であるが、eコマースは好調。」「イベント減少等による売上減はあるものの、店の立地条件にもよるが、復調の兆しがある。」「各種イベント中止で漸減傾向、今後も新型コロナの終息次第。」との回答。

『食料・飲料』…「お茶の需要減少に伴い生産・販売ともに縮小。新しい業態を模索中。」とのコメント。

『医薬品』…「調剤薬局では新型コロナの影響により、受診抑制・処方日数の長期化が続
き、薬価(医療用医薬品の公定価格の事)も毎年引き上げられるため、売上は低下する。」との声。

『衣料品・呉服』…「コロナ禍により消費者が外出を控えているため、販売需要に繋がら
ない。感染拡大が長期化すれば更なる打撃は避けられない。」「コロナの影響で出張員(営
業)も顔をみせないが、連絡を取れば厳しい状況ですという言葉しかない。振袖を着用する
成人式の開催もどうなるのか危惧する。」とのコメント。

『生花』…「大雪による配送遅延・荷受け停止が発生しており、生花商品が少なく価格が
高騰しているため厳しい状況。今後更に悪化すると思われる。」「新型コロナで輸入できず
生産が不可能となったため、花き(切り花・鉢物・球根・花壇用苗物の事)及び商品資材の供給が、
不安定になっている。更に生産者及び同業者が後継者不足による、高齢事業主の廃業が増
加している。先が見えず、いつまで商売が続けられるか不安である。」との意見。

『日用品・雑貨』…「ステイホームで家庭内調理器具等の需要が増え余り影響がなかった
が、市内での感染拡大後に急落した。」「年末ならではの忙しさが感じられず、年明けか
らの見通しは予見できない。」一方「コロナ禍は玩具業界に於いては、プラスに働いた面
が大きい、特に年末の感染再拡大は飲食・サービス業が縮小する分、日用品物販には追い
風となっている。」「祝事等のイベントが縮小され、装・宝飾品の必要性が無くなりつつ
ある。また、高級・贅沢品というイメージが強いため、買換えや使用を控える傾向があり、
同業者の廃業が急増している。」との回答。

『化粧品』…「化粧品業界の国内生産・販売は低迷。マスク着用によりメイクアップ商品
は需要低下傾向にあるものの、スキンケア商品に関しては高まっている。今後の見通しも
コロナの収束に尽きる。当業界でもセミナーや忘新年会の中止が相次ぐ。」とのコメント。

『家電』…「コロナ禍で自粛生活の定着により、家電製品の需要が好調。特に調理家電は
オーブンレンジやトースター・高額な炊飯器などが業界では例年以上に伸びている。感染
防止対策として空気清浄機や加湿器が効果的で注目されている。」とのこと。

『自動車』…「登録車と軽自動車を合わせた11月の新車販売台数は、前年同月比6.7%増
であった。前年1月～11月の累計台数はコロナ禍による営業不振が続く、前年同期比13.0%
減と下降する模様。」「貸切バス利用者の減少は半端なく、厳しい状況下である。助成金が
打ち切られたら倒産する企業が拡大する模様。東京オリンピックの開催に期待を抱き、新
型コロナウイルスの終息を願うばかりである。」との意見。

『その他』…「外食産業はGoToイートで多少回復したようだが、他の物販市場(生活必需
品以外)は、消費マインドが上がらない様子。」「富士駅周辺はコロナ禍による集客減が顕
著である。」「鈴川地区は特に高齢者が多い地域のため、屋外での人影を見る機会がない。」「
週末の夜は吉原商店街市営駐車場がほぼ満車状態であったのに、富士地区のクラスター
報道以降、吉原地区も人通りが激減した。」「市内に於いて、飲食店以外は余り影響がな
かったが、新型コロナクラスター発生にて商店街の来客数も激減し、売上減収。」「感染
再拡大により、夜間営業の飲食店などの閉店が見られる。今後時短営業などで更に廃業す
る店舗が増加すると思われる。」との情報。「コロナ禍で低迷しているのはGoTo対象事業
者だけではない。あらゆる業界・業種が変調をきたしているため、政府の支援策・補填が
片寄っていることを疑問視する。」との声。

| | 好転% | 不変% | 悪化% | 今期D I | 来期予測 |
|-----|------|------|------|-------|------|
| 業 況 | 17.4 | 21.7 | 60.9 | ▲43.5 | 横ばい |
| 売上高 | 18.2 | 18.2 | 63.6 | ▲45.4 | 上 昇 |
| 採 算 | 17.4 | 17.4 | 65.2 | ▲47.8 | 上 昇 |

【サービス業】 景気ムード…【厳しい状況】

『飲食』…「10月～11月はGoToキャンペーンで売上が戻りつつあったが、12月に入りクラスター該当地区となり客足の激減により売上減収。昨年の5割減となり大幅に悪化し、厳しい状況下である。時短要請により、感染者が減り再びお客様に信頼される店づくりを目指し再起したい。」「非常に厳しい状況が続いている。コロナ収束後も当分続くと思われる。GoTo イート関連では、勝ち組と負け組とでハッキリと分かれている。年末年始を迎えるにあたり回復状況になった矢先、市内でクラスター発生によりお客様の動きはピタリと止まった。」とのコメント。

『クリーニング』…「コロナ禍による販売先減少・解約の拡大。この先、販売及びレンタル先の受注は、抗菌対応製品や衛生商品の投入がカギとなる。」「コロナの影響により、在宅テレワークが増えているため、スーツ・ワイシャツ等を着る機会が減りクリーニングの需要が低下、このまま続けば経営も苦しくなる。」との回答。

『運輸・倉庫』…「今期初頭は若干低下したが、10月頃から受注量が改善してきた模様。多少コロナの影響がまだあるが、収束を願い来年は回復していくと思われる。」との声。

『自動車整備』…「新車販売がコロナ禍で需要低迷。事故車の入庫もユーザーが修理を控えているため、昨年より自動車钣金整備への入庫台数が少なくなっている。」とのこと。

『不動産』…「宅地分譲地の需要が低迷している。コロナ禍により今後も見通しは暗い。」「コロナ禍により人の動きが鈍く売上が低下。今後コロナの終息が見えなければ苦戦を予想せざるを得ない。」また「コロナ禍でテレワークにより働き盛りの戸建需要が上昇しており、物件が不足しているというデータをみた。地価は下降傾向だが、需要は上昇する見込み。首都圏からの移住、アパート・マンションからの住み替えによる分譲地の需要及び広めの物件、中古マンション等が人気上昇すると予測する。」との意見。

『求人広告・広告デザイン』…「当業界の動向は新型コロナウイルスの影響は大きく見通しが立たない。初心を思い出し原点回帰する必要性がある。」との回答。

『専門サービス』…税理士事務所に於いて「顧客の業績悪化に伴い連動、給付金申請等で事務量が増加し実質赤字。」「コロナ禍に於いて各業界が影響を受けており、特に飲食業・観光業等に倒産及び廃業が生じている。コロナが収束するまで厳しい状況が続き、中小企業を支援する立場から、顧客の減少及び単価の見直しにより厳しい局面に向かっていく。今後、国・行政も予算の面に於いても公共事業等に影響が生じる可能性がある。」「勝ち組と負け組が更に明暗を分け、事業者数は減少してくると思われる。」とのコメント。

『葬祭業』…「景気動向により、消費者心理として冠婚葬祭費の捻出は抑えようとする傾向である。」との声。

『旅館・ホテル』…「危惧していた新型コロナの蔓延により人の動きが鈍化してきた。前期より持ち直しの動きが見られて来ただけに残念。団体客は壊滅的状況のため、個人・小グループのお客様を大切に営業している状態。」との回答。

『各種学校』…「新型コロナにて当業界は、合宿型教習所はオンライン授業により減少。通学型教習所の入校数、売上ともに増加はしているがこの特需は続かず、今後新たなビジネスモデル及び事業展開を考えなければならない。」との意見。

『塾・個人教授』…「対面指導を主にする学習支援業は、オンラインの切替えを実践しても減益・減収の流れであった。GIGAスクール構想(個別に最適化された学びを提供するために現在政府主導で進められている施策)により教育のICT(情報通信技術)化が進むと思われるが、予算の問題や教員のITスキル向上に時間を要すると思われる。いち早くICT化を進められるかが、明暗を分けると思われる。」との見解。

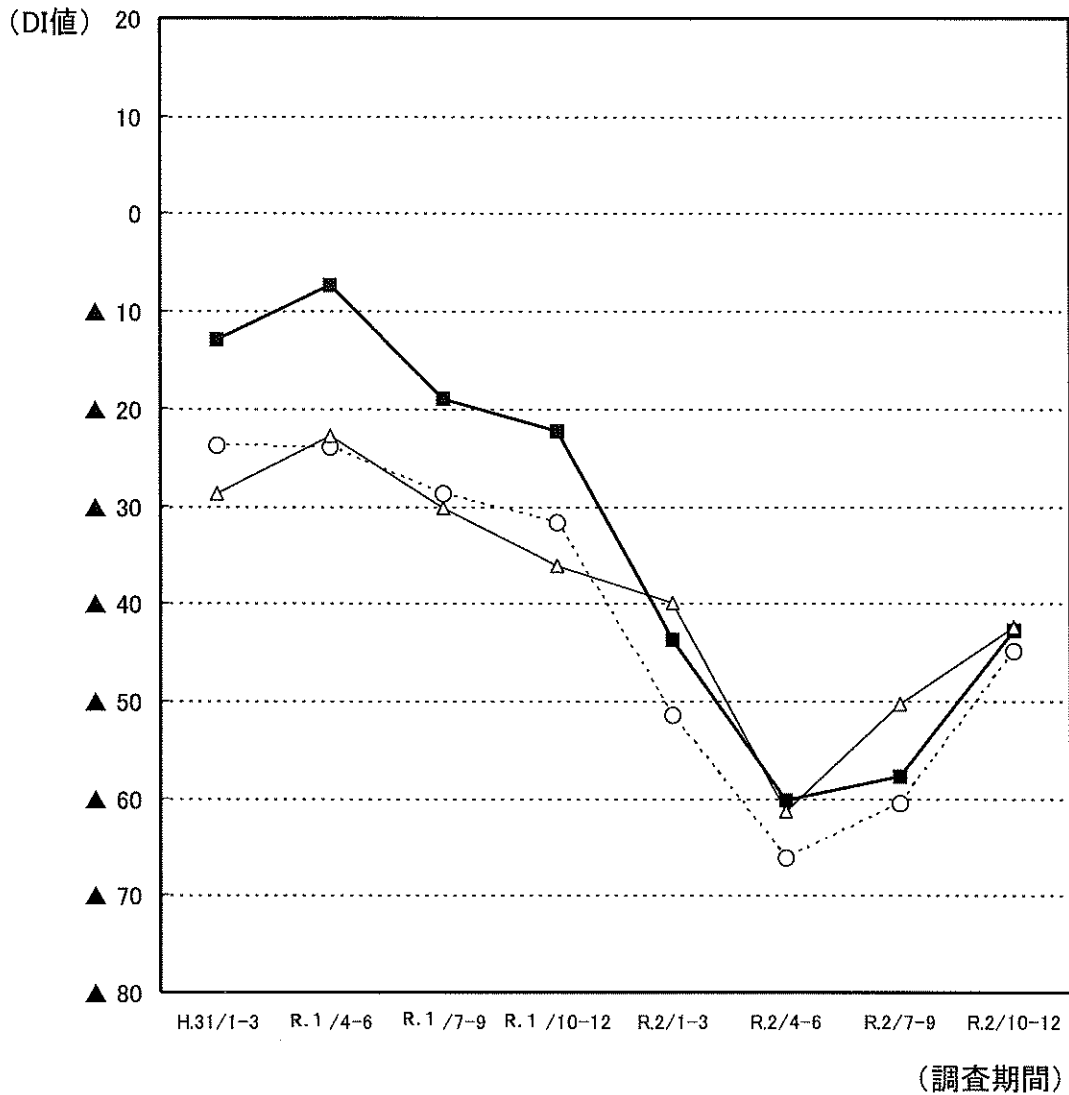
『介護事業』…「介護サービスを必要とする人は伸びているが、人手不足は変わらず人件費の高騰で経営難。」との回答。

『その他』…「大規模店の客足が鈍化し、減少傾向。店舗により客数の片寄りが大きい。」
「新富士駅内の「アスティ新富士」にストリートピアノを期間限定で設置。TVでも紹介され、お客様の動向が少し良くなったが、感染再拡大により動きが鈍くなった。」「大型施設を所有する企業は、維持費・人件費などで厳しい状況下になると予想。」「令和5年に新々富士川橋が完成するという報道があった。関連する市道も工事が進み、今後岩松・岩松北地区の人气が上がると推察する。」「駅北地区でクラスターが発生し、学校行事も中止せざるを得ないことは誠に残念。」とのコメント。

| | 好転% | 不変% | 悪化% | 今期D I | 来期予測 |
|-----|------|------|------|-------|------|
| 業 況 | 11.1 | 22.2 | 66.7 | ▲55.6 | 上 昇 |
| 売上高 | 11.1 | 29.6 | 59.3 | ▲48.2 | 上 昇 |
| 採 算 | 14.8 | 14.8 | 70.4 | ▲55.6 | 上 昇 |

全産業主要調査項目の 前年同期比DI推移状況

■ 売上 ○ 業況 ▲ 採算

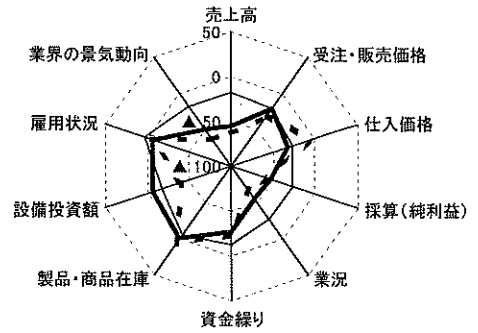


レーダーチャート

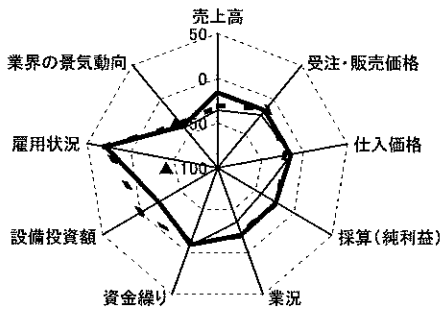
| | |
|---------|-------|
| 売上高 | 増加・減少 |
| 受注・販売 | 上昇・下降 |
| 仕入価格 | 下降・上昇 |
| 採算 | 好転・悪化 |
| 業況 | 好転・悪化 |
| 資金繰り | 好転・悪化 |
| 製品・商品在庫 | 減少・増加 |
| 設備投資額 | 増加・減少 |
| 雇用状況 | 不足・過剰 |
| 業界の景気動向 | 好転・悪化 |

| | |
|-------|-----------|
| 前年同期比 | ——— |
| 来期予測 | ——— |
| 前回調査時 | - - - - - |

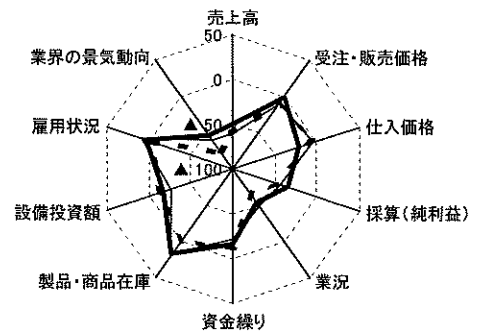
【製造業】



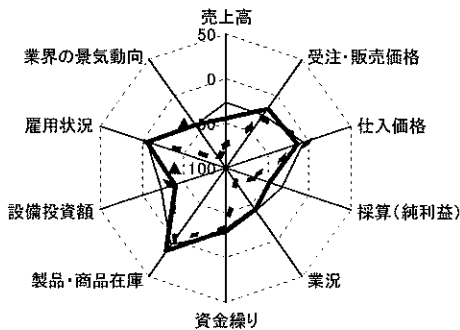
【建設業】



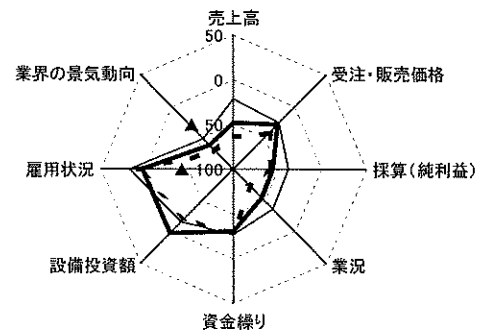
【卸売業】



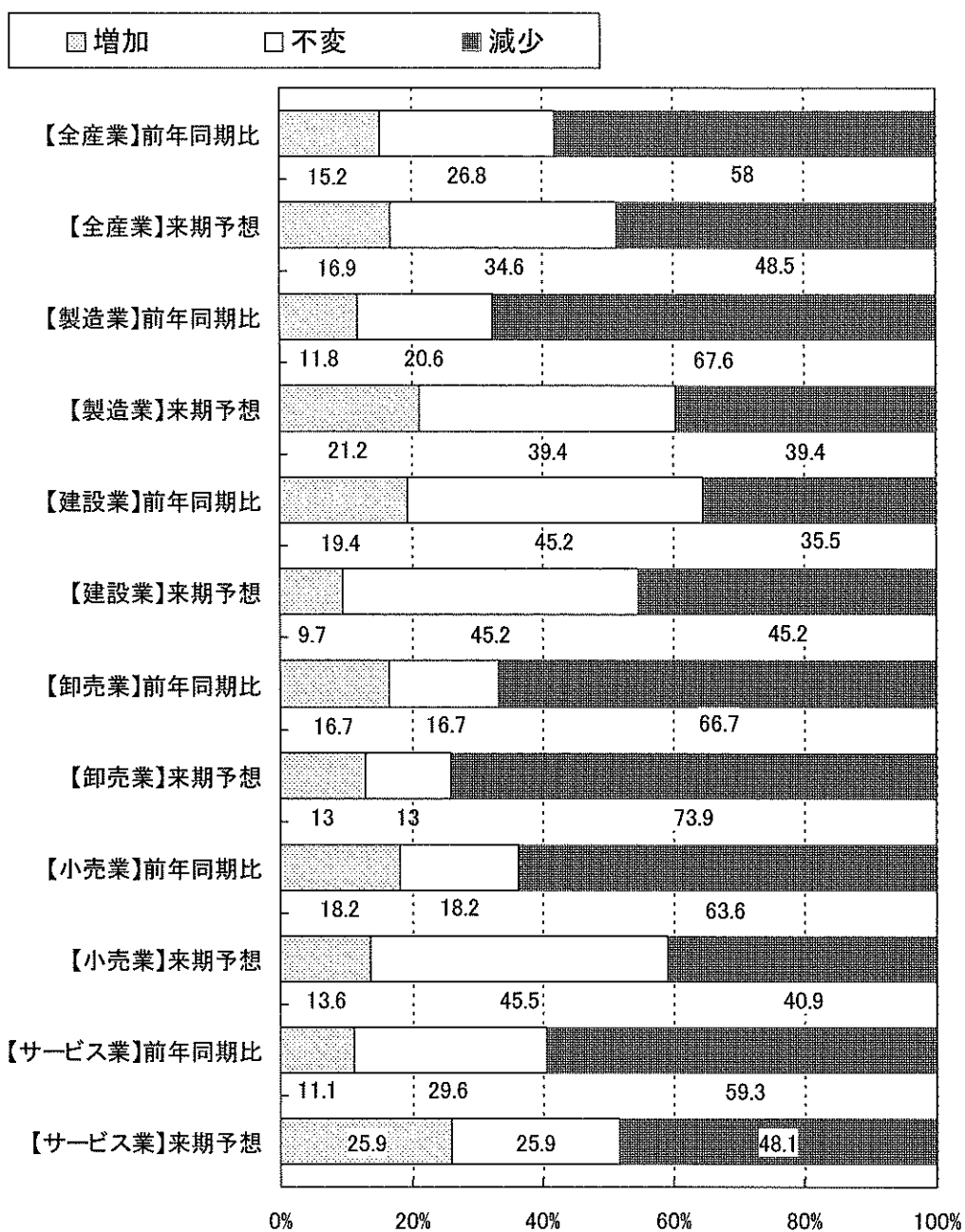
【小売業】



【サービス業】



売上高の前年同期比と来期予測



◇ 経営上の問題点 ◇

| 産業別 | 上位回答項目 |
|-------|--|
| 製造業 | 1 位 売上減に伴う利益減 2 位 設備老朽化 3 位 人材不足 その他 その他の需要の低迷 |
| 建設業 | 1 位 人材不足 2 位 売上減に伴う利益減 3 位 その他の需要の低迷 その他 設備老朽化 |
| 卸売業 | 1 位 売上減に伴う利益減 2 位 その他の需要の低迷 3 位 設備老朽化 その他 人材不足 |
| 小売業 | 1 位 売上減に伴う利益減 2 位 その他の需要の低迷 3 位 売上、利益減による資金圧迫 その他 設備老朽化 |
| サービス業 | 1 位 売上減に伴う利益減 2 位 売上、利益減による資金圧迫 3 位 その他の需要の低迷／販売価格値上げ難 その他 人材不足 |

最近の静岡県金融経済の動向

公表日（2020年12月14日）

日本銀行静岡支店
照会先 TEL 054-273-4106

（概況）

県内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から引続き厳しい状態にあるが、経済活動が徐々に再開するもとの、持ち直している。

最終需要の動向をみると、輸出は増加している。個人消費は持ち直している。住宅投資は幾分持ち直している。公共投資は高水準で推移している。設備投資は下げ止まりつつある。

こうした下で、企業の生産は、業種・品目毎に区々の動きとなっているが、全体としては増加している。

この間、20/12月短観をみると、業況感、売上高、企業収益は、依然として低水準ながら、製造業・非製造業ともに改善した。

雇用・所得環境をみると、労働需給は悪化に歯止めが掛かりつつあるが、全体としては引き続き厳しい状態にある。

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回っている。

1. 需要項目別の動向

※前回からの変化 改善 ↗ 横ばい → 悪化 ↘

（1）個人消費（前回からの変化） → 持ち直している。この間、外食など各種サービス消費でも持ち直している。

百貨店・スーパー売上高は、持ち直している。乗用車新車登録台数・販売台数は、持ち直している。コンビニエンスストア売上高は、持ち直している。家電販売額は増加している。ドラッグストア売上高は、大幅に増加している。旅館・ホテルの宿泊数は、持ち直している。

（2）公共投資（前回からの変化） → 高水準で推移している。
（公共工事請負金額前年比：20/10月▲34.6%⇒11月+5.2%）

（3）設備投資（前回からの変化） ↗ 下げ止まりつつある。
（短観・設備投資額：19年度計画+1.4%⇒20年度計画▲0.4%）

（4）住宅投資（前回からの変化） → 幾分持ち直している。
（新設住宅着工戸数前年比：20/9月+15.4%⇒10月▲14.9%）

(5) 輸 出 (前回からの変化) ↗ 増加している。

(輸出額前年比：20/9月+32.3%⇒10月+1.4%<速報値>)

清水港、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4港合計

2. 生産、雇用・所得、物価の動向

(1) 生 産 (前回からの変化) ↗ 業種・品目毎に区々の動きとなっているが、全体としては増加している。

(鉱工業生産指数・生産<季節調整済>前月比：20/8月+1.8%
⇒9月+4.4%<速報値>)

自動車・同部品は、増加している。二輪車・同部品も増加している。食料品は、持ち直しているほか、電気機械は、増加している。化学は、幾分持ち直している。はん用・生産用・業務用機械は、下げ止まりつつある。紙・パルプは、減少しており、楽器は、持ち直している。

(2) 雇用・所得 (前回からの変化) → 労働需給：悪化に歯止めが掛かりつつある。(↗)

雇用者所得：悪化している。(→)

(有効求人倍率 季節調整値：20/9月0.90倍⇒10月0.93倍)

(3) 物 価 前年を下回っている。

(消費者物価指数(除く生鮮食品)：前年比20/9月0.0%⇒10月▲0.7%)

3. 企業倒産、金融面の動向

(1) 企業倒産 . . . 件数、負債総額ともに総じて落ち着いている。

(20/11月、負債総額10百万円以上)をみると、倒産件数(16件<前年比：▲30.4%>)
負債総額(16億円<同：▲42.9%>)

(2) 預 金 前年を上回っている。(前年比：20/9月末+8.6%⇒10月末+8.8%)

(3) 貸 出 前年を上回っている。(前年比：20/9月末+6.7%⇒10月末+7.7%)

(4) 貸出約定平均金利 . . . 前月比低下している。(地元地銀・第二地銀4行ベース、総合・ストックベース)
(水準：20/9月1.671%⇒10月1.660%)

以 上